

卷 頭 言

— 童 心 禮 讚 —

井 村 竹 市※



客あり談偶々ヘンリーベセマーの事に及んだ、客問うに當時畫期的な轉爐法の如き發明が冶金學者又は技術者によつて爲されず其道の人として寧ろ素人ともいふべきベセマーによつて何故に達成されたかの理由を以つてした。

私は即坐の返答に困つて退いて考える時間を與えて貰うことにした。

元來専門家という者は平生自由無礙の行爲を許される者でなく其道を深く掘り下げていつて能率を幾らかでも向上せんと努むるのが普通であつて又當然の事である。これなくしては事業は大成しないであろう、それ故に此方向に懸命の努力をされる人々に敬意を拂ふことには私は決して人後に落ちない積りである。然しこゝに弊害が伴ふことに注意しなければならないであろう。

それは既成技術の推進に没頭する餘り所謂オーソドックスの事ばかりしか耳にはいらぬ。もつと悪い表現をもつてすればマンネリズムに陥ることがあり得る。かゝる場合には新しい技術の線に沿うて進むには既成の技術が基礎になつて役立つところか却つて邪魔になることさえあり得る。ましてや180度の轉換をしようとは企及だもし難い事になる。それ故に舊慣を墨守するに専らあつたり或は既成の技術に囚われた専門家よりも素人としての自由奔放な考え方が發明の種類や性質によつては寧ろ有利な立場にあると言えないだらうか。

以上は私の客の質問に對する獨語的答である。然し假りに技術を鐵鋼の製造面に限定して考えても複雑多岐であつてかくは簡単に片付け得ないものがある。何となれば専門家にして初めて發明せられたものが顯著に今日も用いられている事實が多々あるからである。そこで私はそういう偉大な人の心事に想到して理由を技術上の童心の有無に歸したいと思ふ。

然らば童心とは如何なる事を指すか。藝術論などに折々童心という事があらわれるようであるがそれがどういふ意味を有するかの詮索はこゝには必要がない、何となれば私は今藝術の上の童心に基づいて意見を述べているのでなくして唯私の考えを述べる方便として此語を借用しているに止るからである。

それで私の所謂童心とは素朴な心、色に染まらぬ心、現象をそのまま映ずる鏡の如き心と解釋して貰えば意味は充分盡さぬ迄も略近い所でないかと思われる。

私の舊い工場生活の中でかつて平爐に關する問題で悩んだ事があつた。この時圖らずこれに気がついて爾來數十年工場から離れてもこの事を念として進んで來た。然し私の不敏の致す所これによつてこれ程の事蹟が擧つたと披露するほどの事がないのは遺憾である。それにしても私自身としては幾多の技術問題の處理上には得たところが多かつた事を窃に喜びとしている。

素人にして前記のような立場から發明なり技術の改善がどしどし行われる事は勿論望ましいが、専門家にして此氣持をもつて目前に今日今日處理されてゆく問題に此態度があればどれ位吾國の製鐵技術は進歩するだらうかと想到するとこの種の心構を切に要望せざるを得ぬ次第である。特に現在ほど鐵鋼各社に於て設備の改善の併び行わるゝ時機は少い。何れも社の規模製品の種類に應じ夫々の立場から歐米の新設備や新技術から短を去り長を採つて會社としては相當の經濟的負擔を敢てして行われつゝあるも

※元日本製鐵株式會社取締役

のである。此時新しい技術の導入や新設備の運営にどういふ態度をとつて臨まらうか、いふ迄もなく出来るだけ短期間に目標に達成すべく献身の努力がなされるであらうが單なる努力だけでは不充分であつてどうしても前述のような態度が必要と思われるのである。

一例を擧げるとして一つの機械の運轉をとりあげてみよう。此場合機械は問題を簡単にするためにスキンプスミル又はテンパーミルの如きものを想定するとする。先ず第一に機械の良否の問題がある。如何なる外國の一流會社のものでも矢張幾分の出来不出来は免れないものである。これに次いで壓延されるもの一こゝではコールドストリップであるが一品質や寸度に就て充分の検討が加えられなければなるまい。若しふさわしくないとすれば作業の前工程即ちこゝではコールドストリップミルにさかのぼつて點檢が加えられなければなるまい。即從來は可なりとして看過されていたものでも新しい眼で見なおされなければなるまい。こゝに於て新しい機械の運轉はすでに其工場に於て體得されたとなつてゐる技術と平行して是正されなければならぬことになる。それについて愈運轉そのものである。現時の此種の機械は非常に精密化されている。それと同時に製品に對する要請も嚴酷である。單なる回轉數の調整で運轉の能事了れりとする如きものでない。問題は幾多附隨的に起る。これ等が一々克服されて始めて正常化運轉となるのである。

以上は最も簡單なる場合を假定に置いて其の困難の並々ならぬことの例證とした。これが流れ作業的になつた形態では益々複雑となるのであつて、こゝになると又綜合的技術の達成が問題となる。思うに設備が精密化すればする程この制御は複雑となるものゝようである。

前記の例の外各社多種多様の状態に於て目的達成を負擔される技術者諸賢の責は大きい。此の重責は各社の經濟に多大の影響あり又達成の暁には吾國の經濟の原動力として至大な貢獻をなすものであるから特に自重と努力とを切望したい。唯此の裏面に童心の健在することあつて一層の光輝を増すことと思はるゝので不文を顧みず本稿を草した。

元來このような考は人に推しすゝめるよりも退いて内省的に深く自分を掘り下げるべき性質のものと思ふが我が國狀を顧みて一片の憂心止み難きものがあつて讀者の坐下に呈する次第。文意は達せざるを咎めず言外に意味を酌んで下さるならば望外の仕合である。